身延山大学仏像制作修復室 彫玄（ちょうげん） 展覧会

【初の展覧会『新しい仏教美術のかたち 佛／美展』を 東京・銀座で開催いたします】
身延山大学（山梨県南巨摩郡身延町身延3567 学長：持田貫宣）では、国際日蓮学研究所仏像制作修復室（以下、工房）に於いて仏像の制作や修復などの活動を行っており、柳本伊左雄仏教学部特任教授の指導の下、同研究所研究員・研究生および在学生が制作集団「彫玄（ちょうげん）」の名で、実際に制作修復の依頼を受け、日々技術を磨いています。
この度、日々の研鑽の成果を披露する機会として、初の展覧会を東京・銀座で開催することといたしました。

【展覧会開催までの背景】

1999（平成11）年、身延山大学では仏像制作修復室（以下、「工房」）を設置し、仏教美術にかかわる技術者の育成をはじめた。何事も“現場実践”を信条とする柳本伊左雄仏教学部特任教授の熱心な指導のもと、学生は入学時より鑿（のみ）と玄能（げんのう）を手に取り、仏像の摸刻からその道に入る。工房での仏像制作は木彫を基本としており、一連の制作工程を経験して、卒業制作では原則としてその集大成である木彫仏像を制作する。彫っては彫り直され、また彫り進めるという日々の積み重ねにより技術を修得していく。また仏像修復は、寺院をはじめとする依頼先より本物の文化財を預かり、洗浄・補填（ほてん）・下地・彩色および漆箔（しっぱく・漆で金箔を貼る事）・古色仕上げ・報告書作成など、ほぼ全ての工程を行う。現在、工房出身者である複数の研究員・研究生がプロの仏師として、仏像・仏具の制作や修復をはじめ、香炉や絵画、瓦や七宝など伝統工芸全般にわたり、意欲的に制作活動に取り組んでいる。今回、その研鑽の成果を多くの皆様方にご高覧いただき、制作集団「彫玄」の若き仏師たちについて知っていただく機会となれば幸いである。

【展覧会の概要】

主 催：身延山大学国際日蓮学研究所 仏像制作修復室 制作集団「彫玄（ちょうげん）」

協 賛：日蓮宗総本山身延山久遠寺・山梨県南アルプス市商工会／若草まちおこし協同組合

会 場：銀座ギャラリー・ゴトウ 東京都中央区銀座1-7-5 銀座中央通りビル7階

期 間：2022年10月27日(木) ～11月2日（水） 12:00～18:00（最終日16:30迄）

入場料：無料

【プレスリリース連絡先】
身延山大学 担当：池田（いけだ）
メールアドレス： ikeda@min.ac.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com